

若手社員に贈るメッセージ

僕は、やっぱり夢に向かって がんばる若者には 「がんばれ」と言いたい

芸人の世界を通して夢と現実の間で苦悩する若者の姿を描いた『火花』で、第153回芥川賞を受賞した又吉直樹氏。この5月、2年ぶりに長編を上梓した。師弟の関係から恋愛に設定が変わったものの、やはり悩みに揺れる若者が描かれている。著者の又吉氏に、夢や仕事への思いを聞いた――。

芸人／作家

またよしなおき

又吉直樹

1

Message

「変な人」と「見まっとうそう
で、実は変な人」とが関わりあって、
そこで生まれるいびつなものに、
僕は昔から興味がありました

受

賞後初の長編小説『劇場』は一
転して、売れない劇作家永田と
地方から女優を目指して上京した沙希
との恋愛物語となっている。なぜ演劇と
いう分野、そして恋愛というテーマを選

んだのだろう。

「今回は、東京で出会い一緒に暮らすよ
うになった若い男女の関係性を描いて
いたら、何か見えてくるのではないか
というのがスタートでした。だから、主

